

法学 -裁判の新聞記事を読む前に-

単位数	ナンバリングコード	
2	DBA206	
	教員名	関根 洋
	専門	法学、民事法、商法・有価証券
	出身校等	北海道大学 大学院 法学研究科 博士課程単位取得中退
	現職	北海道情報大学 経営情報学部 講師
授業形態		
前期印刷授業・後期印刷授業・前期面接授業		
授業範囲	試験範囲	
教科書第6章・第7章	授業範囲の内容すべて	
	【印刷授業：試験時参照許可物】 一切自由 ※ただしWebページ（通信教育部POLITEを除く）と生成系AIの参照は不可とする。 【面接授業：試験時持ち込み許可物】 有斐閣ポケット六法のみ	
科目の概要		
使用する教科書の「法学概論」に相当する箇所を対象とします。取扱われている項目は多岐にわたり、初歩的な問題のみならず、新しくかつ高度な問題も一部に取扱われていますが（平易に書かれているので大丈夫です）、大学教育としてはまさにそこが「頑張りどころ」であるとも言えます。		
授業における学修の到達目標		
民法・商法の履修に際して前提となる、法律学に関する基礎的な知識を習得すること。		
講義の方針・計画		
教科書は大変判り易く書かれており、学習用プリントの必要もないくらいですが、とにかく教科書を丁寧に読んで正確に理解して下さい。その際、必ず六法を傍らに置いて、引用されている条文（例えば「民法〇〇条によれば.....」など）にも併せて目を通すようにして下さい。判らない用語を調べるために、『法律学小辞典』（有斐閣）を手許に備えることが理想的ですが（憲法、民法、商法等の法学関連科目にも間違いなく役立ちます）、そうできなくても、「要すれば最寄りの図書館等で随時調べる」ことを心掛けて下さい。		
第1回：紛争と法(教科書 第6章 1) 第2回：裁判のしくみ(第6章 2) 第3回：紛争解決方法のいろいろ(第6章 3) 第4回：一般法と特別法(第7章 1) 第5回：判例法(第7章 2) 第6回：法の解釈(第7章 3) 第7回：公法と私法(第7章 4) 第8回：民事責任と刑事責任(第7章 5) 第9回：憲法と私たちの生活(第7章 6) 第10回：自己決定権・プライバシー権・個人情報の保護(第7章 7・8・9)		

講義の方針・計画
<p>第11回：男女の平等 (第7章 10) 第12回：生存権の保障 (第7章 11) 第13回：裁判を受ける権利 (第7章 12) 第14回：外国人と人権 (第7章 13) 第15回：コンピューター社会と法 (第7章 14)</p>
準備学習
<p>印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を2単位で90時間かけて学習することを目安としています。 わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。 印刷授業以外の授業形態において、以下の準備学習を行う。 （予習）聴講前に、教科書の該当箇所を目を通してください。 （復習）聴講後に、教科書の該当箇所を読んで、確認してください。</p>
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法
<p>印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。</p>
成績評価の方法およびその基準
<p>科目試験による評価100%</p>
教科書
<p>書 名：法の世界へ（第10版） 著者名：池田真朗ほか 発行所：有斐閣 ISBN：9784641222465 書 名：ポケット六法（令和7年版） 発行所：有斐閣 ISBN：9784641009257</p>
参考書
<p>なし</p>
その他
<p>「民法入門」、「商法」の履修を予定している諸君は、この科目を履修することを希望します。</p>
試験期間
<p>シラバス検索画面トップページ (https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/) 下部の「2025学年暦」を参照</p>
学習プリント
<p>あり</p>
教職科目
<p>商業5の1（選択）</p>
関連受講科目
<p>「民法入門」、「商法」</p>
担当教員の実務経験
<p>実務経験なし</p>